

BiND 1 → BiND 2へのサイトデータの 移行コンバート後に必要な作業について



DIGITALSTAGE Support
2008年 9月 12日 金曜日

第一版

目次

1.	コンバート後に変更される部分	3
2.	BiND2だからできる機能を楽しむ	4
3.	メニューデザインの設定変更方法	
1.	BiND1とBiND2のメニューデザインの違い	6
2.	メニューデザインの変更方法	7
4.	余白設定変更方法	
1.	余白の設定	9
2.	余白あり/なし 自動変換のルール	10
3.	余白の設定方法	12
5.	画像の位置ずれの修正方法	
1.	画像の位置ずれを修正する方法	14
6.	インデントの設定変更	
1.	インデントのルール	16
2.	インデントの設定変更方法	17
7.	画像リンクの枠を消す	
1.	画像リンクの枠を消す	19
2.	画像リンクの枠の設定方法	20
8.	フォントを変えよう	
1.	フォントの設定方法	22
9.	パンくずリストの設定変更	
1.	パンくずリストの設定方法	24



1. コンバート後に変更される部分

○ メニューデザインはすべてのサイトで変わります。

- メニューのデザインはすべてのページで変わります。

BiND1ではメニューのデザインは、設定画面のブロックスキンで設定しておりましたが、BiND2では編集画面のリストから設定するようになりました。この仕様変更により、全てのメニューのデザインが変わります。

○ ブロックの周囲にある余白がなくなる場合があります。

- BiND2では余白ありと、余白なしを選べるようになりました。

BiND1では各エリアとブロックの上下左右に余白をとっており、自動的に余白が入る仕様でした。BiND2では各エリア、各ブロックごとに上下左右の余白の有無を設定できる仕様になりました。そのため、コンバート直後では余白があるブロックと、余白のないブロックができる場合があります。

○ 画像の位置がずれる場合があります。

- BiND1と比べて、標準の行間が数ピクセル広くなりました。

上記の仕様変更により、改行・スペースなどによって画像の位置をあわせるような設定をされている場合には、画像の位置が変わる場合があります。

また、画像サイズに合わせて背景画像をつくっている場合には行間が変わったため、表示がずれる場合があります。

○ 主にテーブル表示になっているインデントの表示が変更されます。

- インデント設定の表示が変わります。

BiND1では、テーブル表示などのインデントの設定は、ブロックスキン+インデントの設定で表示してましたが、BiND2では全てのブロックスキンでテーブル表示に対応できるよう、テーブル表示をブロック編集画面のリストから設定できるようになりました。

他にもインデントの設定が変わる部分があります。

2. BiND2だからできる機能を楽しむ

○ 画像リンクの枠が消せます。

- 画像にリンクを設定した際に画像に自動設定される枠の表示・非表示を選べるようになりました。

BiND1では設定した画像パーツの「クリック設定」でリンクの設定を行うと、自動的にリンク枠が設定される仕様でした。

○ フォントが「明朝系」と「ゴシック系」で選べます。

- フォントは2種類から選択できます。

BiND1ではできなかった、フォントの設定ができるようになりました。ゴシック系はBiND1と共通ですが、新たに明朝系のフォントが設定できるようになりました。

○ フォントの色も大きさも、カスタムタグを利用せずに変わります。

- 文字装飾用のカスタムタグを整理できます。

フォントの色はカラーピッカーからお客様の好きな色を自由に選択していただけるようになりました。また、フォントサイズが6段階から選択できるようになりました。

いままでカスタムタグで設定していた文字装飾用のタグをなくし、編集画面でフォントカラーもフォントサイズも見ながら設定することができます。

○ パンくずリストが、かっこよく・わかりやすく。

- 新しいパンくずリストは3種類。

BiND1では、「|」で区切られたパンくずリスト1種類でしたが、一般的な「>」の表示になる「テキスト」、ブロックスキンで色が設定できる「カラー」、パンくずリストにするにはもったいないほどの存在感の「リッチ」。

新しいパンくずリストを楽しんでください。

※ 変更しなければ、BiND1で利用していたパンくずリストをそのまま利用できます。

※ BiND1と同様のHTMLソースを記述すれば、BiND1のパンくずリストを設定できます。



3. メニューデザインの設定変更方法

メニューのデザインはすべてのページで変わります。BiND1ではメニューのデザインは、設定画面のブロックスキンで設定しておりましたが、BiND2では編集画面のリストから設定するようになりました。

この仕様変更により、全てのメニューのデザインが変わります。



3-1.メニューデザインの変更方法 ～BiND1とBiND2のメニューデザインの違い

○ メニューについて

- BiND1のときは・・・？

BiND1ではメニューデザインの設定は、「ブロックエディタ」の設定画面にある「ブロックスキン」からの設定をしました。



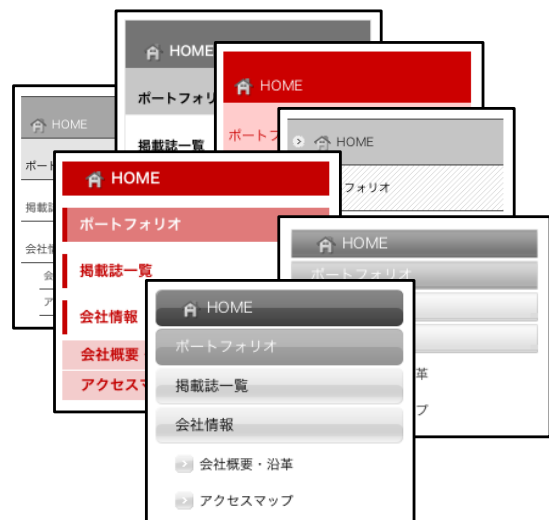
BiND1のメニュー（サイドメニュー）です。

- BiND2ではここが変わる

BiND2のメニューデザインの設定は、「ブロックエディタ」の設定画面にある「ブロックスキン」で色のみを選択し、編集画面の「リスト」で5種類の中から選択します。

● memo ●

ブロックスキンでカラーを選択した場合、メニューAとメニューBの2種類が用意されています。メニューC～Eについてはカラーでのご用意はございませんのでご了承ください。



BiND2のメニュー（サイドメニュー）です。

○ コンバート直後に選択されているメニューデザイン

- すべてのメニューは、まずは「メニューA：シンプルカラー(小)」になります。

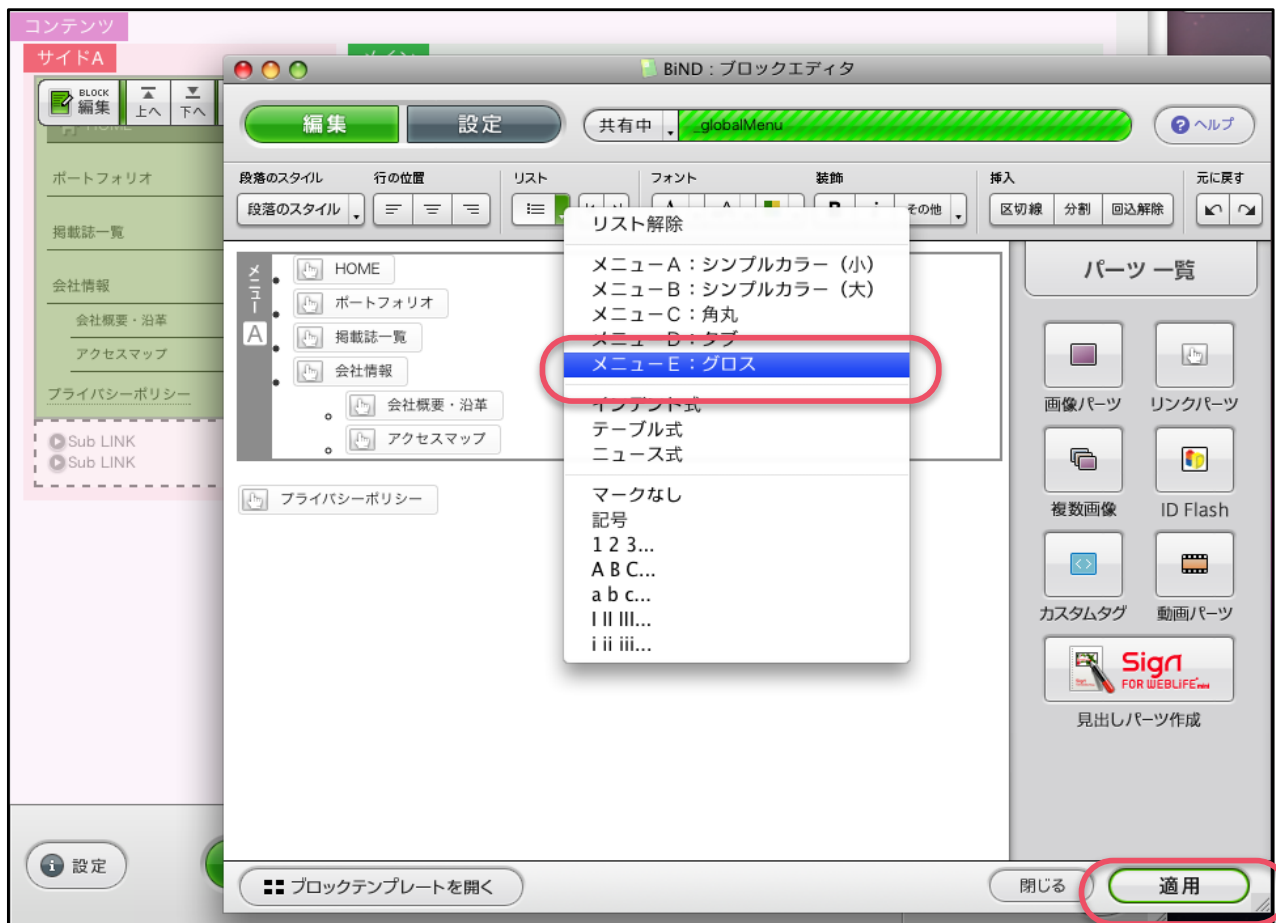
BiND1からBiND2へコンバートを行うと、すべてのメニューは、BiND2の「メニューA：シンプルカラー(小)」になります。

カラーは、各メニューのカラーになりますが、BiND1とBiND2では搭載されているカラーが異なるため、BiND1と似たカラーのメニューに自動変換され表示します。



「メニューA：シンプルカラー(小)」のサイドメニュー表示のサンプルです。まずはこのメニューにすべて変換されます。各カラー対応のメニューに自動変換されます。

3-2.メニューデザインの変更方法 ～メニューデザインの変更方法



www.digitalstage.jp/support/

○ メニューの変更方法

1. メニューブロックのブロック編集をクリックし、画面を表示します。
2. メニューAに設定されている行にカーソルを合わせ、リストからご希望のメニューを選択します。
3. ブロックエディタの編集画面でメニューの表示が希望のものに変わったのを確認し、[適用] ボタンをクリックします。
(図は「メニューE: グロス」に設定する場合の例です)
4. メニューのデザインが変更されます。



4. 余白設定変更方法

BiND2では、ブロックやエリアの周囲の「余白あり／余白なし」を選べるようになりました。

BiND1では各エリアとブロックの上下左右に余白をとっており、自動的に余白が入る仕様でした。

BiND2では各エリア、各ブロックごとに上下左右の余白の有無を設定できる仕様になりました。

そのため、コンバート直後では余白があるブロックと、余白のないブロックができる場合があります。



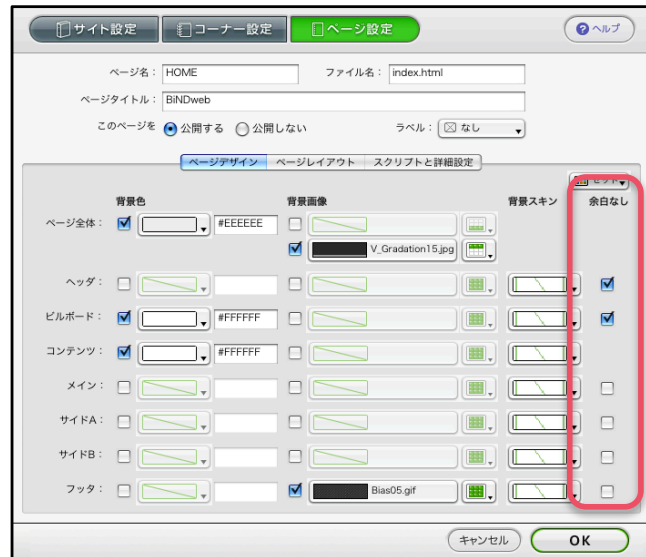
4-1.ブロックの余白設定変更方法 ～余白の設定

○ 余白の設定は「ページデザイン」と「ブロックスキン」の2ヶ所。

- 1ヶ所目は「ページデザイン」で設定できます。

「サイトエディタ」画面下部、[設定] ボタンから「ページ設定」を選択し、その中にある「ページデザイン」タブから設定できます。

この設定は、各ページごとかつ各エリアごとの設定となります。



ページ設定画面

www.digitalstage.jp/support/

- 2ヶ所目は「ブロックスキン」で設定できます。

余白あり/なしの設定 1個所目は、「ブロックエディタ」の設定画面にある「ブロックスキン」の「余白」で設定できます。

この設定では、ブロックの周囲の余白のあり/なしを各ブロックごとに設定できます。



ブロックエディタ画面

4-2.ブロックの余白設定変更方法 ～余白あり／なし 自動変換のルール-1

○ 余白ありでコンバートされる場合

- エリアが余白ありになるエリア
：「メイン」「サイドA」「サイドB」「フッタ」エリア
- ブロックで余白ありになるブロック
：ブロックスキンの設定で、「スタンダード」「リッチ」に設定されているブロック

メインエリアの設定
このメインコンテンツに設定されている内容は、

ページレイアウト	C-1 サイドメニュー 左寄せ型
エリア背景色	#DDDDDD
背景画像	なし
背景スキン	なし

上記の記事はインデントを利用しています。

▶ **メインブロック-1の設定**
このメインブロック-1に設定されている内容は、

ブロックスキン	スタンダードホワイト
ブロックレイアウト	プレーン
背景色	#99CC66
背景画像	なし

上記の記事はインデントを利用しています。

▶ **メインブロック-2の設定**
このメインブロック-2に設定されている内容は、

ブロックスキン	リッチホワイト
ブロックレイアウト	プレーン
背景色	#FFCC66
背景画像	なし

上記の記事はインデントを利用しています。

← (左上) BiND1のメインエリアに、ブロックスキンで「スタンダード」と「リッチ」を設定した画面です。

メインエリアの設定
このメインコンテンツに設定されている内容は、

ページレイアウト	C-1 サイドメニュー 左寄せ型
エリア背景色	#DDDDDD
背景画像	なし
背景スキン	なし

上記の記事はインデントを利用しています。

▶ **メインブロック-1の設定**
このメインブロック-1に設定されている内容は、

ブロックスキン	スタンダードホワイト
ブロックレイアウト	プレーン
背景色	#99CC66
背景画像	なし

上記の記事はインデントを利用しています。

▶ **メインブロック-2の設定**
このメインブロック-2に設定されている内容は、

ブロックスキン	リッチホワイト
ブロックレイアウト	プレーン
背景色	#FFCC66
背景画像	なし

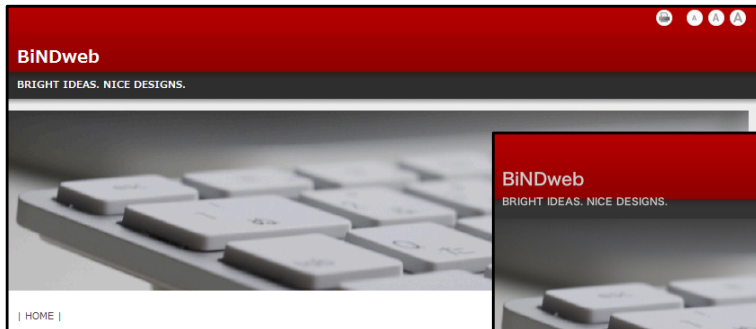
上記の記事はインデントを利用しています。

(右下) 左上の画像をコンバート直後後のBiND2のメインエリアとインデント設定したブロックです。

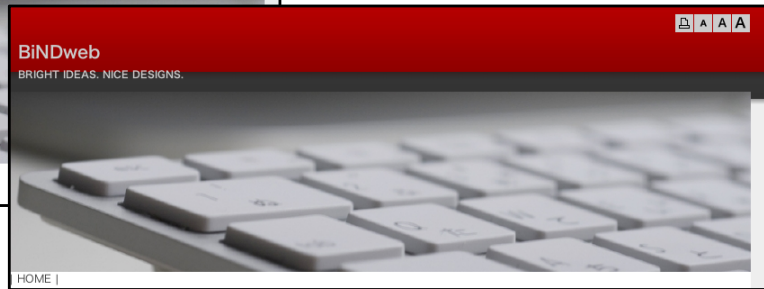
4-2.ブロックの余白設定変更方法 ～余白あり/なし 自動変換のルール-2

○ 余白なしでコンバートされる場合

- エリアが余白なしになるエリア
：「ヘッダ」「ビルボード」エリア、
- ブロックで余白なしになるブロック
：ブロックスキンの設定で、「なし」「シンプル」に設定されているブロック。
なお、BiND2ではすべてのブロックにブロックスキンが設定されます。
「なし」は「シンプル」に統合されます。



↑ (左上) BiND1のヘッダーとビルボード部分です。



(右上) コンバート後のBiND2のヘッダーとビルボード部分です。余白がなくなります。位置ずれにお修正是「5.」でご説明します。

www.digitalstage.jp/support/

メインエリアの設定
このメインコンテンツに設定されている内容は、

ページレイアウト	C-1 サイドメニュー 左寄せ型
エリア背景色	#DDDDDD
背景画像	なし
背景スキン	なし

上記の記事はインデントを利用しています。

メインブロック-2の設定
このメインブロック-2に設定されている内容は、

ブロックスキン	なし
ブロックレイアウト	プレーン
背景色	#FFCC66
背景画像	なし

上記の記事はインデントを利用しています。

メインブロック-1の設定
このメインブロック-1に設定されている内容は、

ブロックスキン	シンプルホワイト
ブロックレイアウト	プレーン
背景色	#99CC66
背景画像	なし

上記の記事はインデントを利用しています。

↑ (左下) BiND1のメインエリアに、ブロックスキンで「なし」と「シンプル」を設定した画面です。

メインエリアの設定
このメインコンテンツに設定されている内容は、

ページレイアウト	C-1 サイドメニュー 左寄せ型
エリア背景色	#DDDDDD
背景画像	なし
背景スキン	なし

上記の記事はインデントを利用しています。

メインブロック-2の設定
このメインブロック-2に設定されている内容は、

ブロックスキン	なし
ブロックレイアウト	プレーン
背景色	#FFCC66
背景画像	なし

上記の記事はインデントを利用しています。

メインブロック-1の設定
このメインブロック-1に設定されている内容は、

ブロックスキン	シンプルホワイト
ブロックレイアウト	プレーン
背景色	#99CC66
背景画像	なし

上記の記事はインデントを利用しています。

↑ (右下) 左のデータをコンバート後した直後の画面です。

4-3. 余白の設定方法

○ ブロックの余白の設定方法

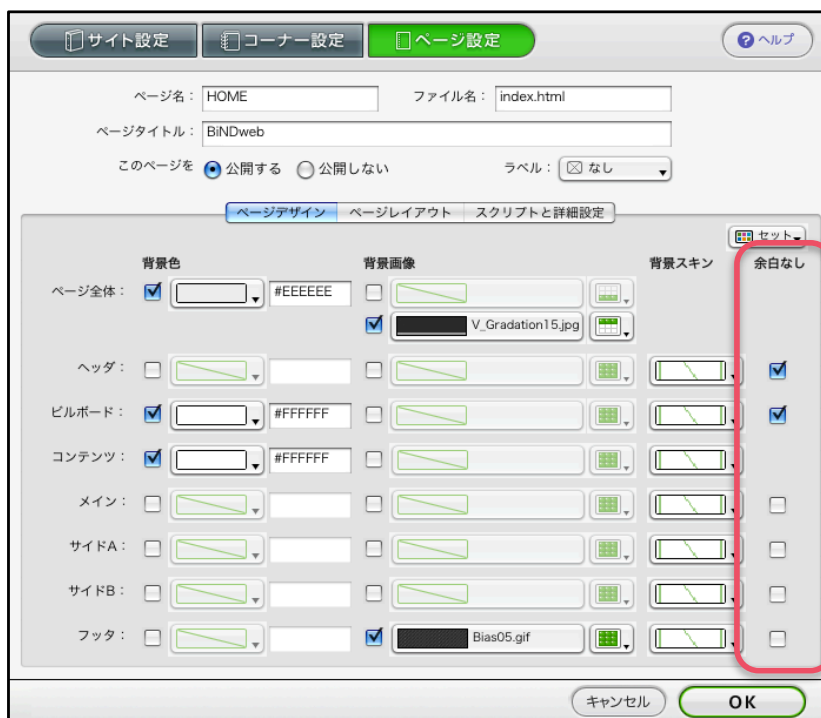
1. 該当のブロックのブロックエディタを開き、設定画面を表示します。
2. ブロックスキン最下部にある、「余白」の「上下左右の余白をゼロにする」のチェックを設定します。



ブロックエディタ画面

○ エリアの余白の設定方法

1. ページ設定画面を開きます。
2. 該当エリアの「余白なし」のチェックを設定します。



ページ設定画面



5.画像の位置ずれの修正方法

BiND2では標準の行間がBiND1とは異なるため、

画像（とくに背景画像）をテキストに合わせて作成している場合などは、

位置がずれます。

その修正を行います。

5-1.画像の位置ずれを修正する方法

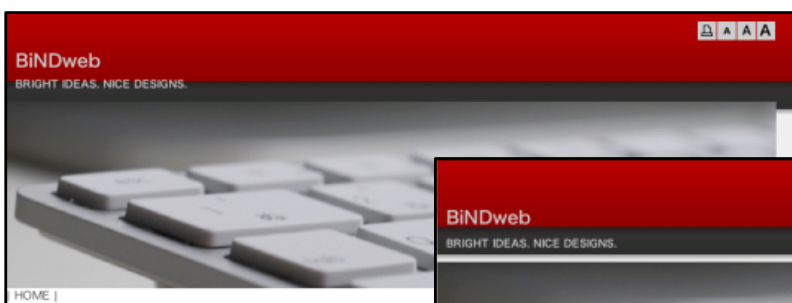
○ ポイントは2つ！

- 画像の位置ずれを修正するためのポイントは下記の3箇所です！
 1. 行間の設定
 2. 余白の設定変更（ブロック、エリアとも）

これらの設定を変更することで、多くの画像ずれが修正されます。

ただし、それでも直らない場合があります。

その場合は、画像サイズを変更するなどの設定を行う必要があります。



←(左)コンパルト直後の画像。
コンパルト直後は背景画像と位置がずれています。

(右)コンパルト後、修正を行った画像。→
背景画像にぴったり収まりました。



www.digitalstage.jp

○ 1. 行間の修正

BiND2ではBiND1に比べて行間が少し狭くなったり広くなったりします。（設定している段落スタイルにより異なります）

また、文字間も変わります。

そのため、画像位置がずれる場合は行間の設定変更を行う必要があります。

- 行間の設定変更方法
 1. 該当ブロックの「ブロックエディタ」を開きます。
 2. 「ブロックエディタ」の「設定」画面を開き、画面下部の「行間設定」を、「狭い」もしくは「広い」に設定します。
※適切な位置にくるよう試してみてください。



○ 2. 余白の変更方法

- 余白の設定は「4.余白設定変更方法」をご覧ください。



6.インデントの設定変更

インデント設定のルールが変更になりました。

BiND1ではテーブル表示にするためには「『ブロックスキン』をスタンダードにする」／「文章にインデントを設定する」の2段階の作業が必要でした。

BiND2ではテーブル表示、ニュース表示、インデント表示を編集画面で設定し、どのブロックスキンを利用していても、それぞれの表示を設定できるようになりました。



6-1.インデントのルール

○ テーブル表示を中心としたインデントの設定画面が変わります。

- 今までは編集画面のリスト設定と、ブロックスキンの組み合わせにより「テーブル表示」や「インデント表示」に変化がありましたが、BiND2ではリスト設定のみで「テーブル表示」や「インデント表示」の設定が変わります。
また、それぞれの表示に、さらにブロックスキンの設定をすることでテーブルの線や背景色が自動的に設定されるようになりました。

インデント	BIND1のインデント設定
ブロックスキン	なし
インデント	BIND1のインデント設定
ブロックスキン	シンプルホワイト
インデント	BIND1のインデント設定
ブロックスキン	スタンダードホワイト
インデント	BIND1のインデント設定
ブロックスキン	リッチホワイト
インデント	BIND1のインデント設定
ブロックスキン	カラーレッド

← (左) BiND1でインデントを設定し、ブロックスキンを選択したもの

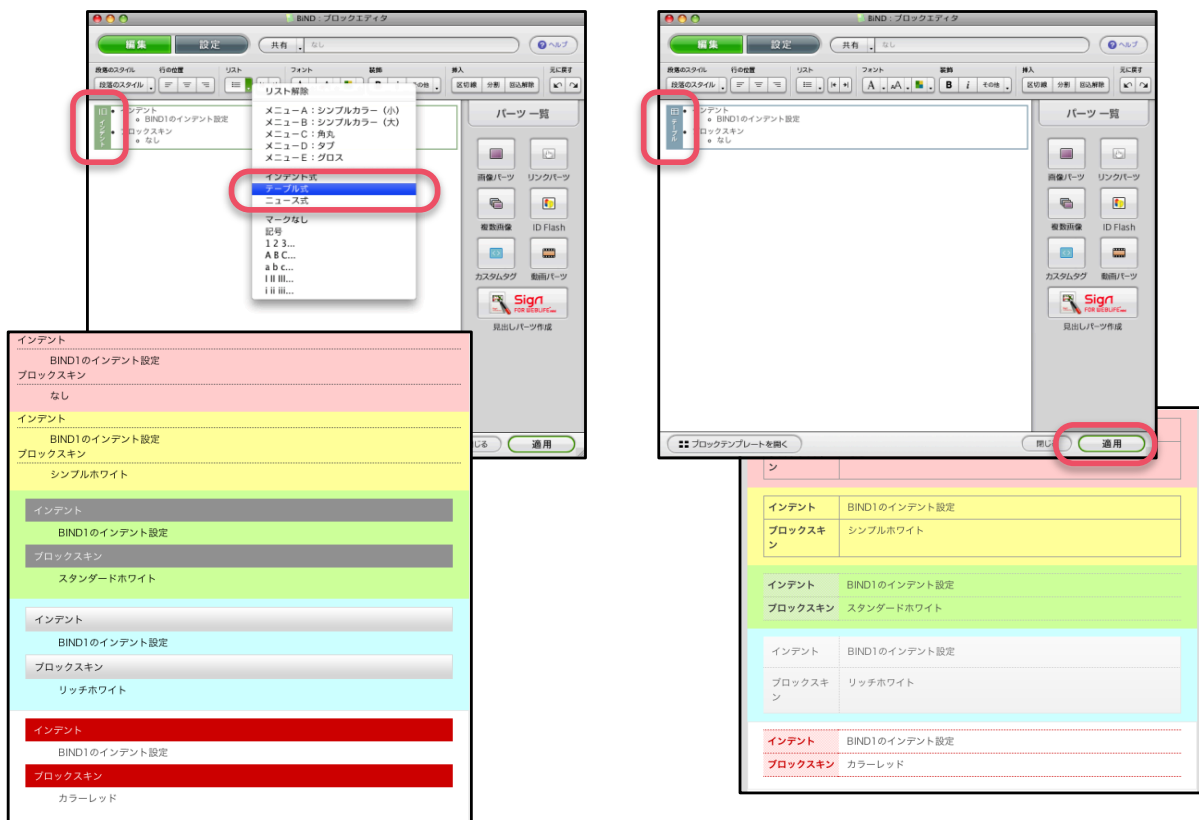
www.digitalstage.jp

(右) コンバート直後→
リストのインデントは「インデント式」
に設定されています

インデント	BIND1のインデント設定
ブロックスキン	なし
インデント	BIND1のインデント設定
ブロックスキン	シンプルホワイト
インデント	BIND1のインデント設定
ブロックスキン	スタンダードホワイト
インデント	BIND1のインデント設定
ブロックスキン	リッチホワイト
インデント	BIND1のインデント設定
ブロックスキン	カラーレッド

6-2.インデントの設定変更方法

- テーブル表示をしていたブロックが、コンバート後にインデント表示になった場合を想定した設定変更方法をサンプルにご紹介します。
 1. 該当ブロックのブロックエディタを開きます。
 2. 該当の編集領域にカーソルを合わせ、リストから「テーブル式」を選択します。
 3. 編集画面で「テーブル」と表示されたのを確認したら、適用ボタンを押します。
 4. これでテーブル表示に変更されます。



● memo ●

他にもブロックスキンを選択すると、いろいろなデザインで表示されます。
数ある表示形式の中から、好きなデザインをぜひ探してみてください。



画像リンクの枠を消す

画像にリンクを設定した際に画像に自動設定される枠の表示・非表示を選べるようになりました。

BiND1では設定した画像パーツの「クリック設定」でリンクの設定を行うと、自動的にリンク枠が設定される仕様でした。

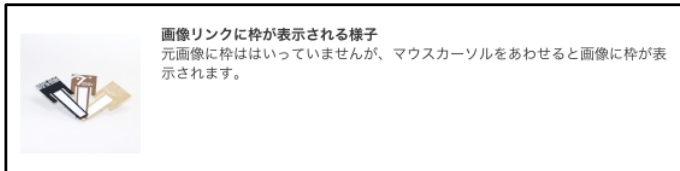
BiND2では画像に枠を つける/つけない を選択できるようになりました！

不要な枠を消してみましよう。



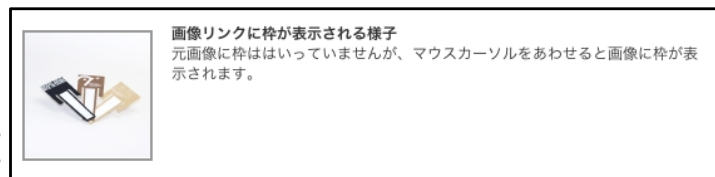
7.画像リンクの枠を消す

- BiND1では画像パーツで設定した画像にリンクを張ると、自動的に画像の枠が設定される表示でした。この仕様はリンクのある画像がわかりやすく便利であると同時に、自作のメニュー画像やボタン画像にも設定されるため、不便に感じられた方もいらっしゃったのではないのでしょうか。
- このリンクの枠を、BiND2では設定する/しないを選択できるようになりました。
- 今までメニューやボタンにリンク枠が表示されていた皆様は、これを機に、BiND2でぜひ修正してみてください。



← (左) リンクを設定した画像

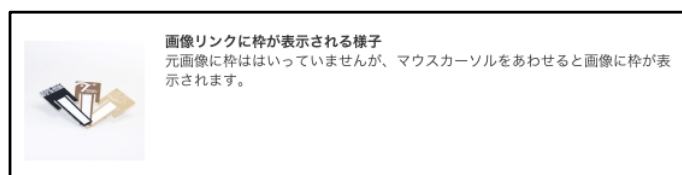
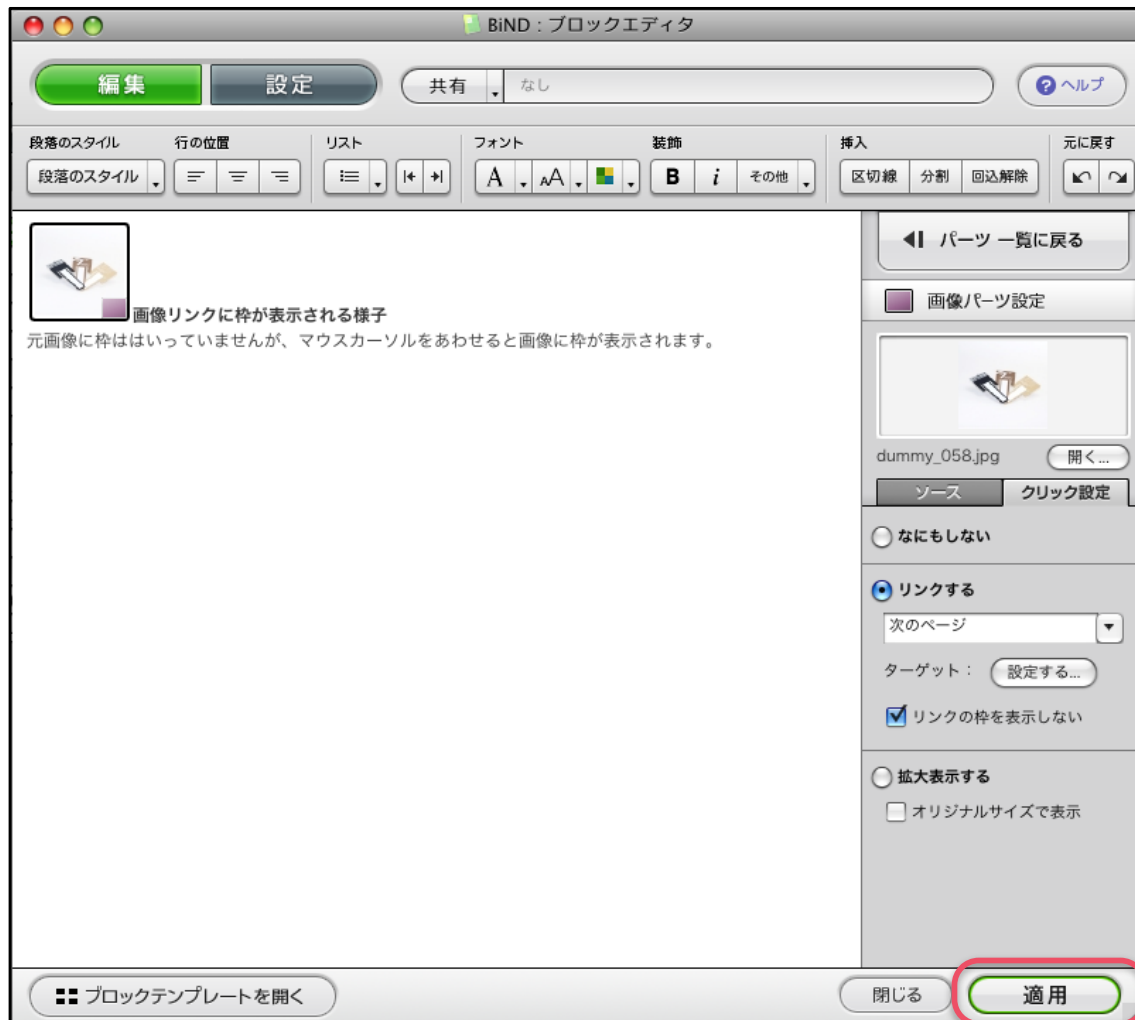
(右) リンクを設定した画像にマウスを
合わせたとき。
このように枠が自動的に表示されます。



7-1.画像リンクの枠の設定方法

○ 画像リンクの枠の設定方法

1. 該当の画像をクリックし、画像パーツ設定を表示します。
2. 「クリック設定」のリンク設定にある「リンクの枠を表示しない」にチェックを入れます。
3. そうすると、マウスオーバーをしてもリンク枠が表示されなくなりました。



● memo ●

ボタンやメニューの枠を消すと非常に見やすくなりますが、通常の画像の場合、リンクの枠が表示されたほうが、変化があり、リンクになっていることがわかりやすいです。

いろいろ試して、あなたのお好みのサイトに育ててみてください。



8. フォントを変えよう

フォントは2種類から選択できます。

BiND1ではできなかった、フォントの設定ができるようになりました。ゴシック系はBiND1と共通で、新たに明朝系のフォントが設定できるようになりました。

フォントの色も大きさも、カスタムタグを利用せずに、カラーピッカーからお客様の好きな色を選択していただけるようになりました。

また、フォントサイズも6段階から選択できるようになりました。

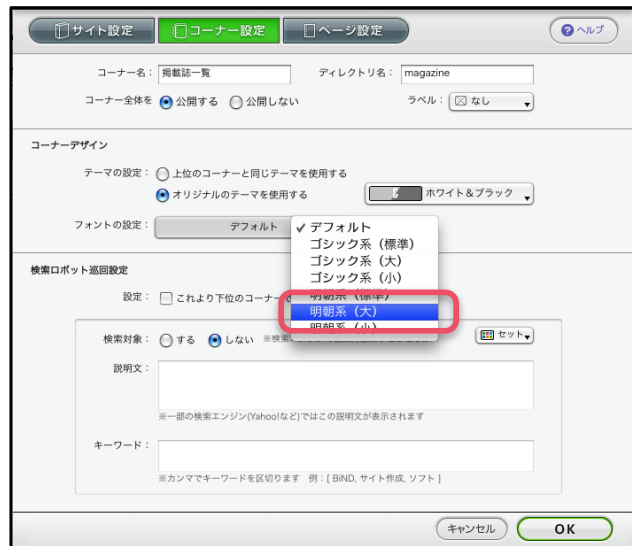
いままでカスタムタグで設定していた文字装飾用のタグをなくし、編集画面でフォントカラーもフォントサイズも見ながら設定することができます。



8-1.フォントの設定方法

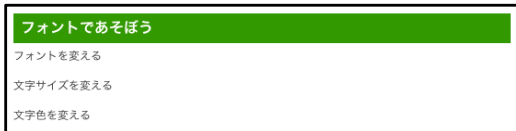
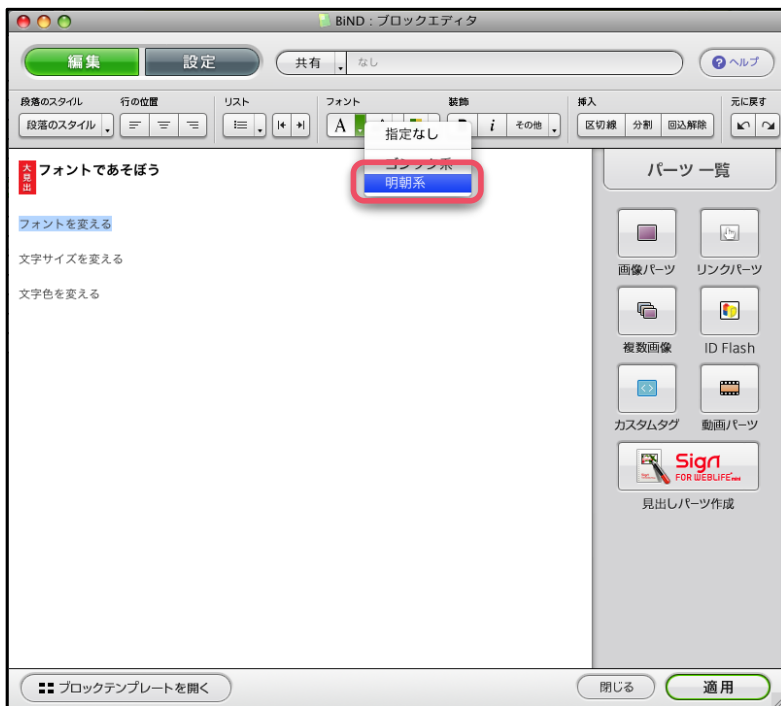
○ デフォルトフォントの設定方法

1. 設定画面の「コーナー設定」画面を開き、「フォントの設定」をクリックします。
2. お好きなフォントを選択します。

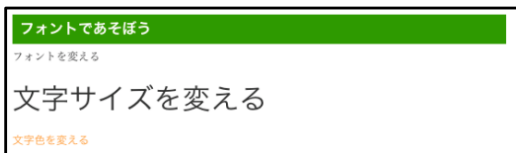


○ フォント・フォントカラー・フォントサイズの設定変更方法

1. 編集画面を開き、文字を入力したら、「フォント」の中らつきたい効果を選択します。
2. お好きなフォントの装飾を選択し、決まったら [適用] ボタンをクリックします。



(上) フォント変更をする前の状態



(下) フォント変更後の状態



9. パンくずリストの設定変更

BiND1では、「|」で区切られたパンくずリスト1種類でしたが、

一般的な「>」の表示になる「テキスト」、

ブロックスキンで色が設定できる「カラー」、

パンくずリストにするにはもったいないほどの存在感の「リッチ」。

新しいパンくずリストを楽しんでください。

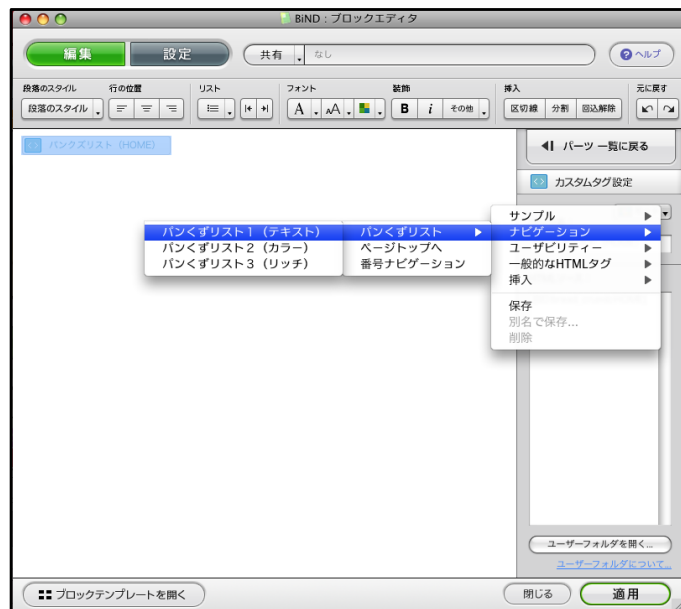


9-1.パンくずリストの設定方法

- **パンくずリストがかっこよくなって種類が3種類に増えました。**
 - 新しくなったパンくずリスト。
 - BiND1と同じようにカスタムタグパーツで設定します。
- カスタムタグの設定のため、BiND1からBiND2にコンバートしてもデザインの変更は変更されませんが、ぜひあたらしくなったパンくずリストをご覧ください。
- 今まで使っていなかった方、「>」の表示にしたかった方、あなたのこだわりをぜひ形に！

○ パンくずリストの設定方法

1. カスタムタグパーツを選択します。
2. 「セット」から「ナビゲーション」→「パンくずリスト」の中からお好みのリストを選択します。



www.digitalstage.jp

○ パンくずリストのデザイン一覧

上から順番に

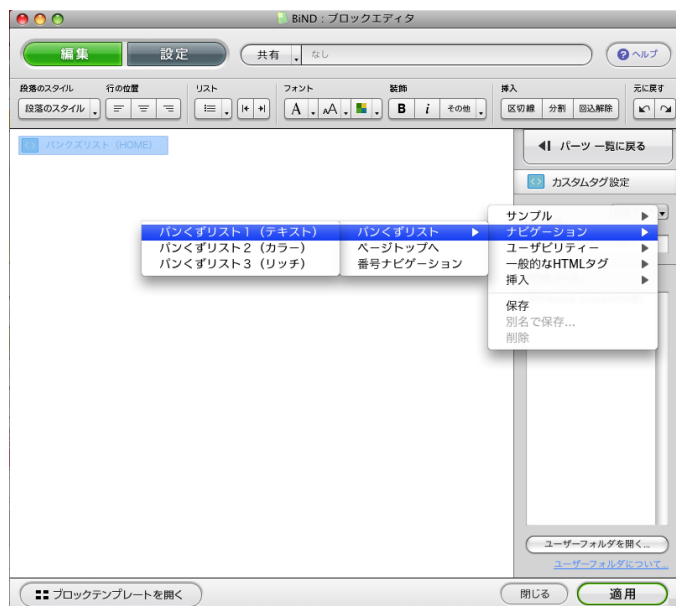
- BiND1のパンくずリスト (BiND2コンバート後)
- パンくずリスト (テキスト)
- パンくずリスト (カラー) ブロックスキンは「カラー：オレンジ」を選択
- パンくずリスト (リッチ) ブロックスキンはホワイト系を選択
- パンくずリスト (リッチ) ブロックスキンはブラック系を選択



9-2.パンくずリストの設定方法

○ パンくずリストの設定方法

1. カスタムタグパーツを選択します。
2. 「セット」から「ナビゲーション」→「パンくずリスト」の中から好みのリストを選択します。



www.digitalstage.jp

| HOME | パンくずリスト | BINDのパンくずリスト |

HOME > パンくずリスト > BINDのパンくずリスト

HOME > パンくずリスト > BINDのパンくずリスト

HOME > パンくずリスト > BINDのパンくずリスト

HOME > パンくずリスト > BINDのパンくずリスト